

令和元年(平成31年)度 事業報告書

社会福祉法人 太良町社会福祉協議会

目 次

1. 会務の運営ならびに連絡調整	
(1) 理事会の開催	2
(2) 監事会の開催	4
(3) 評議員会の開催	6
(4) 評議員選任・解任委員会の開催	6
2. 所轄庁（佐賀県）による指導監査	6
3. その他	
(1) 役職員等研修事業	9
(2) 町内（行政・関係法人等）会議	10
(3) 社会福祉協議会会費納入実績	11
4. 事 業	
(1) 児童福祉事業	12
(2) 援護事業	13
(3) 老人福祉活動事業	14
(4) 生きがい対策事業	14
(5) 障がい者福祉事業	17
(6) 福祉一般	18
(7) 機関誌「心」発行	28
(8) 貸付事業	28
(9) シルバー人材センター事業	28
(10) 介護保険事業	28
(11) 地域福祉推進事業関係	29
(12) 総合福祉保健センターしおさい館の指定管理	30
(13) 「佐賀県内社会福祉協議会災害時相互応援協定」に基づく応援職員の派遣	34
(14) 関連団体事務取り扱い	34

令和元年(平成31年)度 太良町社会福祉協議会事業報告

1. 会務の運営ならびに連絡調整

円滑な会務運営ならびに事務執行を図るため、次のとおり理事会・監事会・評議員会を開催した。

(1) 理事会の開催

期 日	出 席 者	議案及び議決状況
06/07	理事 8名中 8名出席 監事 2名中 2名出席 事務局職員 2名出席	【議決事項】 第1号議案 太良町社会福祉協議会 評議員候補者の推薦に ついて 第2号議案 評議員選任・解任委員会 の招集について 第3号議案 定時評議員会の招集に ついて 第4号議案 平成30年度太良町社 会福祉協議会事業報告 及び決算の承認につい て 第5号議案 令和元年度太良町社会 福祉協議会一般会計補 正予算(第1号)(案) について 以上5議案 原案どおり可決
06/25	理事 8名中 8名出席 監事 2名中 2名出席 事務局職員 1名出席	【議決事項】 第1号議案 太良町社会福祉協議会 会長、副会長及び常務理 事の選定について 会長に合浦善哉理事、副会長に永渕武 理事、常務理事に新貝雄二理事を選定

01/31	理事 8名中 8名出席 監事 2名中 2名出席 事務局職員 1名出席	<p>【報告事項】</p> 報告第1号 令和元年度上期における会長及び常務理事の職務の執行状況について 報告第2号 令和元年度定期監査の結果について 報告第3号 令和元年度社会福祉法人の指導監査の結果について <p>【決議事項】</p> 第1号議案 太良町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について 第2号議案 太良町社会福祉協議会就業規則の改正について 第3号議案 太良町社会福祉協議会会計年度任用職員取扱要綱(案)について 第4号議案 太良町社会福祉協議会再雇用職員取扱要綱(案)について 第5号議案 令和元年度太良町社会福祉協議会一般会計補正予算(第2号)(案)について 以上5議案 原案どおり可決
03/24	理事 8名中 6名出席 監事 2名中 2名出席 事務局職員 2名出席	<p>【議決事項】</p> 第1号議案 令和元年度太良町社会福祉協議会一般会計補正予算(第3号)(案)について 第2号議案 令和2年度太良町社会

		<p>福祉協議会事業計画並びに一般会計資金収支予算（案）について</p> <p>第3号議案 太良町社会福祉協議会就業規則の変更について</p> <p>以上3議案 原案どおり可決</p>
--	--	--

(2) 監事会の開催

期 日	出 席 者	監査の対象・方法・結果
06/01	監事 2名中 2名出席	<p>監査対象</p> <p>平成30年度社会福祉法人太良町社会福祉協議会事業報告及び決算</p> <p>監査方法</p> <p>平成30年度事業報告書・決算に関する貸借対照表・財産目録及び資金収支計算書・事業活動収支計算書について、諸帳票の提出を求め、職員から事情を聴取し、以下の事項を主眼点に監査を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容は、定款及び関係法令に準拠し、公明かつ適正に行われたか。 ・業務及び事業の執行については、所期の目的に沿って効率的で適正な執行がなされたか。 ・決算の計数は正確であるか。 ・財産の管理や運営は適正か。 <p>監査結果</p> <p>事業報告書は、事業の執行状況を正しく示し、不整の点はないと認める。</p>

		<p>財産目録は、関連する法令及び通知に従い、財産を正しく示していると認める。</p> <p>貸借対照表は、関係帳票及び証拠書類等を照合した結果、正確であり、資産と負債の状況を正しく示していることを認める。</p> <p>資金収支計算書・事業活動収支計算書は、収入と支出の状況を正しく示していることを認める。</p>
10/23	監事 2名中 2名出席	<p>監査対象</p> <p>令和元年度事業進捗状況及び一般会計（上期分）</p> <p>監査方法</p> <p>貸借対照表・収支計算書（サービス区分ごとの内訳表を含む）等の諸帳票の提出を求め、職員から事情を聴取し、以下の事項を主眼点に監査を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定款及び規程等に準拠し、業務及び事業の執行は適正か。 ・定款及び規程等の整備状況について。 ・計数は正確であるか。 ・財産の管理や運営は適正であるか。 <p>監査結果</p> <p>業務及び事業の執行は、定款及び諸規程に則り、適正であると認める。</p> <p>貸借対照表は、関係帳票及び証拠書類等を照合した結果、正確であり、資産と負債の状況を正しく示していることを認める。</p>

		収支計算書は、収入と支出の状況を正しく示していることを認める。
--	--	---------------------------------

(3) 評議員会の開催

期 日	出 席 者	議案及び議決状況
06/25	理事 2名出席 評議員10名中10名出席 監事 2名出席 事務局職員 2名出席	第1号議案 太良町社会福祉協議会理事及び監事の選任について 報告第1号 平成30年度太良町社会福祉協議会事業報告 第2号議案 平成30年度太良町社会福祉協議会決算書類(計算書類)の承認について 以上2議案 原案どおり可決

(4) 評議員選任・解任委員会の開催

期 日	出 席 者	議案及び議決状況
06/11	【出席委員】 外部委員 2名 監 事 2名 事務局員 1名 【その他の出席者】 事務局長 1名 【欠席委員】 0名	選任候補者の情報提供、審議及び議決 (1) 候補者の履歴 (2) 候補者とした理由 (3) 候補者と本会及び本会役員(理事、監事)との関係 (4) その他候補者に関する情報 以上の結果、澤山弘評議員及び馬場誉吉評議員を選任

2. 所轄庁(佐賀県)による指導監査

期 日	出 席 者	指導監査結果
12/17	監査班 監査監 1名 副監査監 1名 主査 1名	【文書指摘】 1. 会長及び常務理事(業務執行理事)の職務の執行状況報告が行われていません。 貴会定款第17条第4項の規定に基づき、

	<p>本会 会長 監事 2名 事務局長 事務局職員 2名</p>	<p>毎会計年度に4箇月を超える間隔で2回以上、理事会において報告してください。</p> <p>2. 賞与引当金が計上されていませんので、令和元年度決算から計上してください。その際、引当金に係る注記の記載も行ってください。</p> <p>以上の2点については、改善状況を令和2年2月5日付け文書で回答した。</p> <p>【口頭指摘】</p> <p>1. 理事、監事の選任に際し、評議員会の招集通知に記載する「議題」（理事及び監事の選任について）は理事会で議決されましたが、「議案」（誰を選任するのか具体的な案）については理事会で議決されることなく、評議員会へ提案されていました。評議員会へ理事会として「議案」を提出する場合は、理事会で議決してください。</p> <p>2. 社会福祉法改正前の評議員会（平成28年12月15日）において役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の承認を受けてられますが、改正社会福祉法施行（平成29年4月1日）以降の評議員会での承認は受けられていませんでした。 評議員会での承認を受けてください。</p> <p>3. 福祉団体への助成金交付決定を行っておられるが、一部の団体について、助成金支出の際に内部決裁を取らずに支出されているようです。助成金支出の際は、内部決裁を取るようになしてください。</p>
--	--	---

		<p>【助言】</p> <p>1. 福祉資金の貸付残高が長期貸付金に計上されています。返済計画を見ると短期貸付金に計上するのが適当と思われるので、令和元年度決算から使用する勘定科目の変更を検討してください。</p> <p>2. シルバー人材センターの翌年度の会費等が年度末に徴収されていますが、流動負債の部に計上されていないので、期末までに入金があった翌期の収入については、流動負債（前受金等）に計上してください。</p> <p>3. 就業規則では土日を休日として規定しているが、実際は日月を休日とされているようです。法人の就業規則には、業務の都合により必要やむを得ない場合は、職員の全部または一部について、あらかじめ事前に振り替えるべき日を指定して休日を他の日と振り替えることがあると規定されていますが、この形態が施設の指定管理を受諾されて以降 10 年以上続いているようです。また、職員の雇用条件通知書にも日月を休みとする旨明記しており、実態と規程が相違する状態が永続しているようです。就業規則における振替の規定はあくまで臨時的又は短期的なものと考えられますので、休日の実態に合わせて変更することを検討してください。</p> <p>4. 資格手当として業務に関連する国家資格を有する職員へ支給されているが、法人の就業規則第 41 条には、「職員に支給する給与に関する事項は、太良町職員の給与に関する条例及び規則に準ずる」と規定されているものの、当条例規則には資格手当は規</p>
--	--	--

		<p>定されていないようです。資格手当を支給されるにあたっては、支給の根拠となる規定を整備するよう検討してください。</p> <p>口頭指導、助言については、各々真摯に改善に取り組んでいる。</p>
--	--	---

3. その他

(1) 役職員等研修事業

期 日	出席者	内 容	開催地
4月17日	職員 1名	福祉サービス利用援助事業専門員連絡会	佐賀市
4月25日	職員 1名	市町社会福祉協議会職員連絡協議会総会	佐賀市
4月25日	職員 1名	県シルバー連合会第1回事務局長会議	小城市
5月15日	職員 1名	県シルバー連合会安全就業リーダー講習会	佐賀市
5月18日	管内56名	赤十字防災セミナー（太良・鹿島・嬉野）	太良町
4月23日	職員 2名	赤い羽根感謝のつどい（役員1名）	佐賀市
5月30日	職員 1名	第9回赤い羽根全国ミーティングinやまぐち	山口市
6月 5日	職員 1名	第1回権利擁護に関する勉強会	佐賀市
6月14日	職員 4名	佐賀県生活支援コーディネータ連絡会	佐賀市
6月19日	職員 1名	認知症初期集中支援チーム員会議	嬉野市
6月25日	職員 1名	県シルバー人材センター連合会定時総会	佐賀市
6月29日	職員 1名	認知症予防事業研修	福岡市
7月 5日	職員 1名	日赤地区・分区長会議	佐賀市
7月12日	職員 1名	佐賀県共同募金会市町支会事務局長会議	佐賀市
7月17日	職員 1名	24時間テレビチャリティ募金活動団体連絡会議	佐賀市
7月19日	職員 1名	佐賀県生活支援コーディネータ連絡会準備会	佐賀市
8月 8日	職員 1名	ひきこもりの地域支援を考える研修会	白石町
8月 9日	職員 1名	市町社協生活福祉資金担当職員相談員研修会	佐賀市
8月22日	職員 1名	認知症地域支援推進員現任者研修	福岡市
8月21日	職員 1名	市町社協職員パワーアップゼミ	佐賀市
9月10日	職員 3名	生きがい・助け合いサミットin大阪	大阪市
9月13日	職員 2名	佐賀県生活支援コーディネータ連絡会	小城市
10月15日	職員 1名	生活支援コーディネータ研究協議会	東京都
10月16日	職員 1名	支え合いを広げる住民主体の生活支援フォーラム	東京都

10月29日	職員 1名	市町社協職員パワーアップゼミⅡ	佐賀市
11月19日	職員 1名	社会福祉協議会活動全国大会	東京都
11月20日	職員 1名	社協・生活支援活動強化セミナー	東京都
11月25日	職員 1名	全国シルバー人材センターによる集団指導	佐賀市
11月25日	職員 1名	福祉ビジョン21世紀セミナー	東京都
11月27日	職員 1名	市町社協福祉教育担当者研修会	佐賀市
12月11日	職員 1名	佐賀県シルバー人材センター連合会業務担当者会議	佐賀市
12月13日	職員 1名	市町社協職員パワーアップゼミⅢ	佐賀市
12月25日	職員 1名	エリア別市町社協地域福祉担当者連絡会議	武雄市
1月17日	職員 3名	NPO法人川上・絆の会視察(住民5名参加)	佐賀市
1月22日	職員 1名	福祉サービス利用援助事業専門員研修会	佐賀市
2月 4日	役員 4名	市町社協役員・職員合同研修会	佐賀市
2月 6日	職員 1名	生活支援体制整備事業管理者研修会	佐賀市
2月 3日	職員 1名	市町社協職員パワーアップゼミⅣ・Ⅴ	佐賀市
2月14日	職員 1名	県共募市町支会・市町社協事務局長会議	佐賀市
2月14日	職員 1名	福祉サービス利用援助支援員研修会(2名)	佐賀市
2月12日	職員 1名	東京ケアウィーク2020	東京都
2月25日	職員 5名	レベルアップ視察研修(住民14名)	日向市
2月27日	職員 1名	日赤地区・分区長会議	佐賀市
3月19日	職員 1名	生活福祉資金貸付特例措置対応担当者会議	佐賀市

(2) 町内(行政・関係法人等)会議

期 日	内 容	主 催 者
4月 9日	太良町地域包括ケアコアメンバー会議	地域包括ケア研究会
4月16日	太良町商工会青年部通常総会	太良町商工会青年部
4月26日	ボランティア連絡協議会代表者会議	太良町ボラ連
4月19日	太良町振興計画審議会	企画商工課
4月19日	小規模多機能ホームゆい運営推進会議	NPO法人ゆたたり
5月24日	子どもの居場所づくり運営委員会	社会教育課
5月29日	グループホームさんほうす運営推進会議	有限会社ライフケア
6月11日	太良町地域包括ケアコアメンバー会議	地域包括ケア研究会
6月18日	地域公共交通合同会議	地域公共交通活性化協議会
6月20日	小規模多機能ホームゆい運営推進会議	NPO法人ゆたたり
6月21日	太良町振興計画審議会	企画商工課
7月16日	太良町認知症支援推進員会議	地域包括支援センター

7月24日	グループホームさんほうす運営推進会議	有限会社ライフケア
8月20日	太良町地域包括ケアコアメンバー会議	地域包括ケア研究会
8月28日	太良町民生委員推薦会議	町民福祉課
8月30日	小規模多機能ホームゆい運営推進会議	NPO法人ゆたたり
9月25日	グループホームさんほうす運営推進会議	有限会社ライフケア
10月 8日	太良町地域包括ケアコアメンバー会議	地域包括ケア研究会
10月11日	太良町老人クラブ連合会先進地視察研修	太良町老人クラブ連合会
10月17日	地域包括ケア多職種ネットワーク会議	地域包括支援センター
10月25日	小規模多機能ホームゆい運営推進会議	NPO法人ゆたたり
11月21日	シルバー運動会	太良町老人クラブ連合会
11月22日	太良町振興計画審議会	企画商工課
11月27日	グループホームさんほうす運営推進会議	有限会社ライフケア
11月30日	TCネットワーク研究会関係者研修会	地域包括ケア研究会
12月 4日	生活困窮者自立支援ネットワーク実務者連合会	県生活自立支援センター
12月13日	小規模多機能ホームゆい運営推進会議	NPO法人ゆたたり
12月19日	太良高等学校地域教育連絡協議会	太良高等学校
12月23日	地域公共交通合同会議	地域公共交通活性化協議会
1月22日	グループホームさんほうす運営推進会議	有限会社ライフケア
1月28日	総務常任委員会所管事務調査	太良町議会
2月 6日	コミュニティバス運行後の巡回バス運行	企画商工課
2月21日	小規模多機能ホームゆい運営推進会議	NPO法人ゆたたり

(3) 社会福祉協議会会費納入実績

①一般会費 (1世帯当たり 500円)

地区名	会員世帯数	加入率	金額 (円)	前年対比
多良	979	87.18%	489,500	△4,000
糸岐	453	89.70%	226,500	500
大浦	1,119	94.35%	559,500	11,500
合計	2,551	90.65%	1,275,500	8,000

②賛助会費

一口 5,000円 × 10口 50,000円 (1口=8件 2口=1件)

【使途】 福祉推進員活動、ボランティア連絡協議会活動助成、竹の子の里事業、福祉ふれあいバス運行事業、機関誌発行、など

4. 事業

(1) 児童福祉活動

① 子育て相互支援事業

事業内容と目的	
<p>住民同士の相互支援を基本とし、外出や所用の際、幼児や児童を連れていくことが困難な場合に、子供を一時的に預かる事業。また、保育施設や学校からの送迎も行っており、子供を預かる「協力会員」、子供を預ける「利用会員」をコーディネートし、事業を円滑に運営する。</p>	
◇登録会員の状況	
利用会員数	56名
協力会員数	16名
◇利用回数及び利用時間の実績	
託児延べ利用回数	5回
託児延べ利用時間	30時間（平均利用時間 約6時間／回）
託児利用実人数	3名
◇協力会員研修会及び連絡調整・交流会等の実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・協力会員連絡会議等（協力会員の情報交換） 11回 ・交流会・イベント等（身体測定・3B体操・バスハイク等の交流事業） 幼児125名／保護者109名／サポーター72名 ・託児 幼児5名／サポーター5名 ・自由サロン（保護者同士の自主交流） 幼児296名／保護者223名 ・その他宣伝活動（機関誌「心」への掲載、チラシ配布、母子手帳アプリ配信） 	

② 竹の子の里事業概要

開催期間	7月23日～8月9日（土・日除く）		
実施日数	多良会場 14日	大浦会場	14日
対象児童	4年生以上の全児童児童		
参加児童数			

区分	多良会場 （しおさい館）	大浦会場 （大浦公民館）	合計
申し込み数	30名	13名	43名

延参加者数	292名	120名	412名
一日平均数	22.5名	10.0名	32.5名

ボランティア協力者数 52名

特別授業一覧

月	日	曜	授業内容	参加児童
7月	23	火	・ボッチャ (ニュースポーツ)・おはなし会	36
	24	水	・囲碁手玉 (ニュースポーツ)・ドッチビー	33
	25	木	・室内雪合戦 (ニュースポーツ)・案山子作り打ち合わせ	35
	26	金	・オレンジサポーター (認知症の理解)・マリンスポーツ	37
	29	月	・流しそうめん体験・案山子作り	32
	30	火	・健康吹き矢 (ニュースポーツ)・英語で遊ぼう	31
	31	水	・干潟交流館見学・子供クッキング・ヤクルト出前教室	36
8月	1	木	・子供クッキング・干潟交流館見学・防災のおはなし	27
	2	金	・高齢者交流発表会	23
	5	木	・バスハイク (西部クリーンセンター・宇宙科学館)	35
	6	金	台風8号接近のため中止	—
	7	月	・楽しい英語・牛乳パック椅子作り	30
	8	火	・原爆のおはなし・DVD鑑賞	33
	9	水	・書道・図書館へ行こう・室内ゲーム大会	24
合計			412
一日平均			31.6

③サンタがおうちにやって来る

活動日時	12月24日 18:30~20:00	
訪問件数	13件	
活動者	太良町商工会青年部	7名
	一般ボランティア	3名
	社協職員	1名
	合計	11名

(2) 援護事業

事業名及び期日	対象者数	内 容
①災害援護事業	1件	家屋全焼世帯への見舞金

②福祉サービス援助事業	利用件数 3件 内新規契約者 (1件)	判断能力が不十分なため日常生活に支障がある方に対し、自立した生活を送れるよう、福祉サービスの利用に関する情報提供、助言及び手続の援助、利用料の支払い等、一連の援助を一体的に行う。
-------------	------------------------------	---

(3) 老人福祉活動事業

事業名及び期日	参加者数	内容
①一人暮らし歳末お楽しみ会	参加者 83名 プレゼント配付 129名 合計 212名	欠席者は安否確認 主催：民生委員児童委員協議会

②ここ見てキット（緊急時要援護者見守り支援事業）

75歳以上の一人暮らし高齢者等を対象に、緊急連絡先やかかりつけ医等を明記した個人情報台帳を入れた専用容器を冷蔵庫に保管する。緊急時には関係機関等へ連絡するネットワーク活動を実施。

(4) 生きがい対策事業

①生きがい対応型デイサービス事業

家に閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者等に対し、通所により生きがい活動等の各種サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消及び自立生活の促進を図ることを目的として実施。

実施月/回数	延利用者数	主な行事・レクリエーション
4月 16回	104人	折り紙傘作製・オセロゲームなど
5月 16回	93人	認知機能テスト・カードゲームなど
6月 16回	94人	誕生会・あじさいお花見・DVD鑑賞など
7月 18回	102人	七夕祭り・茶道体験・期日前投票
8月 17回	97人	竹の子の里交流会・スカットボール・塗絵など
9月 16回	97人	誕生会・太良町結核肺がん検診参加・ポッチャ
10月 18回	116人	ペーパーアート・火災避難訓練など
11月 17回	103人	パターゴルフ・紙人形作製など
12月 16回	98人	誕生会・流鏝馬ゲームなど

1月 16回	113人	絵馬作製・出前運搬ゲームなど
2月 15回	92人	三角駒作製など
3月 4回	25人	手作りマスク作製
合計 169回	1,134人	

内容；送迎・バイタルチェック・入浴・昼食おやつ提供・レクリエーションを実施
 ※介護予防事業

ア. 運動機能向上（太良病院理学療法士によるリハビリ指導）	44回/年
イ. 認知症予防支援（太良病院作業療法士による脳トレ指導）	45回/年
ウ. 口腔機能向上（歯科衛生士による口腔ケア指導）	8回/年
エ. 栄養改善指導（管理栄養士による栄養指導）	7回/年

②生活管理指導員派遣事業

社会適応が困難な高齢者に対して、生活管理指導員（ヘルパー等）を派遣し、対象者の日常生活に対する指導・支援を行い、要介護状態への進行を予防することを目的に実施。

○利用者数	5名
○年間派遣時間数	56時間
○本人負担額合計	8,400円（150円/時）
○町委託料合計	75,600円
○収入合計額	84,000円

③外出支援サービス事業

内 容	利用者延数/年
生きがい対応型デイサービス利用者送迎	1,134人

④移送サービス事業

車椅子等を利用している概ね65歳以上の在宅高齢者を対象に、車椅子のまま乗車できる専用移送用車両を用いて通院や日常的な社会参加等を支援。

区 分	人 数	備 考
利用者	6名	通院等介助（4回/月以内で4時間以内/回）
運転協力員	3名	運転協力員登録者数
年間延利用単位数	129単位	1単位＝2時間以内

⑤地域介護予防教室「太良元気塾」

高齢者が要介護状態になることを少しでも遅らせるためのプログラムを地域

に出向いて実施する。指導者は、一般の介護予防アドバイザー（ボランティア）で、参加した高齢者とコミュニケーションを取りながら介護予防メニューを行う。

延べ実施回数	延べ参加人数	延べアドバイザー数
206回	1,744名	435名

定期開催地区（1～3回／月程度）

伊福、栄町、油津、古賀、北町、本町、陣ノ内、針牟田、二十日会、中尾・大野、シルバー人材、野上、広江、野崎、今里、平野、道越、四ツ葉

⑥介護予防教室事業

概ね65歳以上の方を対象に、体力向上や認知症予防等を目的とした各種教室をしおさい館で実施。

教室名	実施回数	延べ参加者数
脳の健康さくら教室	39回	808名
脳の健康元気貯金キャンペーン	63回	1,158名
3B体操教室	37回	365名
筋力アップ教室	131回	1,276名
絵手紙教室	21回	136名
童謡を歌おう教室	21回	367名
デジカメ撮影塾	22回	126名
男メシ料理教室	11回	101名
お絵かき教室	11回	53名
合計	254回	4,390名

⑦元気貯金キャンペーン

介護を必要としない高齢者を増やし、介護予防への意識付けを目的に毎日実施。

【メニュー】テレビ体操・健康ゲーム・健康歩行・計算ドリル・健康スクワット

	第1回	第2回	第3回
期間	6月1日～6月30日 【21日間】	10月1日～10月31日 【22日間】	2月1日～2月28日 【20日間】
時間	13時～14時	13時～14時	13時～14時
人数	利用者数 62名 利用者延べ数 329名	利用者数 65名 利用者延べ数 478名	利用者数 67名 利用者延べ数 351名

(5) 障がい者福祉事業

①障がい者ふれあい研修

太良町身体障害者福祉協会が実施する「ふれあい研修会」を支援

第1回目：平成31年4月27日（参加者27名）

長崎県 いこいの村

第2回目：令和元年9月5日（参加者22名）

長崎県 いこいの村

②手話講習会

聴覚障がい者の理解と初級程度の手話技術の取得を目的に講習会を実施

○講師：太良町手話サークル会員

○会場：しおさい館

期 日 等	延べ参加者数
初級編（5月15日～6月26日）毎週水曜日 全7回	146名

③就労習慣づくり「めばえ」事業

町内には、精神的な障害が原因で、長期にわたって引きこもり、意欲やコミュニケーションが低くなった結果、社会から孤立や就業に繋がらず、将来に不安を抱えている住民がいる。本事業は対象となる住民の外出する機会（通いの場）を作り、関わりの中から公的な就業支援事業に移行する取り組みを行った。

●登録者 4名

●活動日と参加者

期日	時間	内容	参加者数
6月1日	午後1時～3時	しおさい館内で小物づくり	3名
7月6日	〃	〃	3名
8月3日	〃	〃	3名
9月7日	〃	〃	2名
10月5日	〃	〃	1名
11月2日	〃	〃	1名
延べ参加者人数			13名

●結果

精神疾患の登録者が多いため、少しの気持ちの変化が不参加に繋がった。次年度は、個に対する向き合い方に工夫を凝らしながら、新規登録者の確保を続けたい。

(6) 福祉一般

①家族介護交流事業

高齢者を介護している家族の身体的、精神的負担の軽減を図るとともに、要介護者の在宅生活の継続、向上を目的とした、家族介護者の交流・元気回復事業。

期 日 等	参加人数
1回目：6月21日（日帰り 唐津市）	8名
2回目：11月15日～（1泊2日 長崎県雲仙市）	6名

②サロンしおさい

在宅介護者・障害のある方や、日常生活で困り事を抱えている町民が悩み等を語り合える場所を作る。

月	参加者	内 容
4	10名	茶話会
5	9名	茶話会
6	12名	茶話会
7	8名	茶話会
8	9名	茶話会
9	6名	茶話会
10	3名	茶話会・デコパージュ作製
11	5名	茶話会
12	6名	茶話会
1	6名	茶話会・脳トレゲーム
2	13名	茶話会
3	中止	※新型コロナウイルス感染症拡大防止措置
合計	87名	

③太良町戦没者慰霊祭

554柱の戦没者御霊への慰霊祭を実施

期 日：平成31年4月19日

参加者：147名（遺族55名・来賓63名・その他29名）

④福祉バス運営事業

社協事業や福祉団体等の研修等に福祉バスを運行

	延べ運行回数	社協事業	その他(団体)	乗車人員	走行距離
合計	70回	35回	35回	1,094人	3,492km

⑤福祉推進員活動

町内の全行政区に各1名委嘱し、区長及び民生委員児童委員と協働で、住民の見守りや相談受付、社会福祉協議会の地域福祉活動推進に協力してもらう。

○福祉推進員会議開催状況

第1回	5月29日	委嘱状交付 福祉推進員の役割 太良町の福祉サービスについて	31名
第2回	2月15日	第17回太良町社会福祉大会への参加	30名

【福祉推進員の主な活動】

1. 地域住民の見守り及び安否確認
2. 社会福祉協議会事業の地区住民説明
3. 地域福祉活動の支援
4. 相談活動

⑥福祉用具貸出事業

介護保険を利用できない在宅の高齢者や障がい者、病院からの一時帰宅などの場合に、電動式ギャジベッドや車椅子を貸し出す。

貸出回数/年	ギャジベッド1回 ・ 車椅子5回 ・ チャイルドシート6回
--------	-------------------------------

⑦ボランティア事業

ボランティア連絡協議会支援等	代表者会議1回・役員会議3回
ボランティア保険への加入	162名
ボランティア協力校会議	5月28日
ボランティア協力校補助金	60,000円×5校
納涼夏まつり会場清掃ボランティア	7月28日(70名)
24時間テレビ募金ボランティア	8月24日(83名)
第13回はばたけ!ボランティア in 嬉野	10月30日(8名)
赤い羽根共同募金街頭募金活動(十夜市)	11月30日(31名)
第10回ボランティアフェスタ実施	2月15日(56名)

⑧太良町民生委員児童委員協議会事務局業務

- ・ 太良町及び佐賀県への補助金等申請・請求・報告業務
- ・ 定例会等の通知及び関係機関との連絡調整
- ・ 太良町民児協の庶務会計業務
- ・ 町内外施設視察等研修への随行
- ・ 民生委員児童委員一斉改選に伴う退任、新任事務

⑨しおさい館学習会（学習支援事業）

家庭の経済的な事情等により学習塾や家庭教師等による受験対策の望めない生徒に教職経験者等による学習の機会を提供する事業。※11月～2月 14回実施

学 校 名	多良中	大浦中	計
申 込 数	12	10	22
利用者延べ人数	114	97	211

※指導者=4名

⑩jeeの仲人クラブ

老人クラブ連合会と連携し、結婚希望者の情報収集及び見合い等の仲介役・斡旋等を行い、婚姻率を高めることを目的とする。社会貢献活動により、世話役である高齢者の生きがいつくりにも資する。 【老連役員の斡旋により1組成婚】

⑪生活のお困り事相談所

住民が生活を営む上で様々な要因で解決方法を見いだせず困っている世帯に寄り添い、地域の関係機関や地域住民等と一緒に解決方法を見つける。また、解決できない生活の困り事については新しいサービスや仕組みを検討する。

●生活のお困り事相談員の配置

【相談員 4名】

●相談者の男女比

男	96
女	82
合計	178

●対象者の状態

高齢	82
認知症	1
身体障害	3
精神障害	56
知的障害	11
聴覚障害	0
児童	0
●一般	25
合計	178

●相談内容（困っている事）

生活支援	119
家族理解	1
精神不安	1
引きこもり	3
コミュニケーション障害	0
一人暮らし	2
生活困窮	30
金銭管理	8
問題行動	1
貸付	1
苦情・訴え	1
家族内トラブル	2
近隣住民トラブル	5
その他	4
合計	178

相談結果から新年度に向けての新しいサービスや取り組みの方向性を見出した
 ≪中高齢を対象としたひきこもり調査の実施検討≫

⑫太良町元気で長生き・イキイキとした幸せのまちづくり事業
 (生活支援体制整備事業)

事業の目的
高齢者が、住み慣れた地域で安心した生活を続けられるように地域作りを行う。 介護予防活動に取り組む事により、健康で自立した高齢者を増やす。

ア. 太良町第1層協議体

町全域に関係する地域課題（高齢者の生活課題や介護予防への取り組み等）について、話し合い・解決方法を検討するために、会長が委嘱した委員（地域住民・専門職等）で構成する。

会議	開催日	参加数	主な内容
第1回	9/6	16人	医療福祉の視点から見た太良町の現状 委員による意見交換
第2回	10/24	15人	協議体の目的の再確認 「認知症高齢者などの通院支援」
第3回	11/28	17人	「認知症高齢者などの通院支援」のモデルケースについて
第4回	12/19	18人	「認知症高齢者などの通院支援」試行計画説明（送迎、病院と薬局での付き添い）
第5回	1/23	14人	試行実施結果と問題点の報告 1/20に試行実施（ボランティア2名参加）
第6回	2/27	12人	試行（2回目）実施結果と問題点の報告 2/17に試行実施（ボランティア2名参加） ・脳トレ教室「さくら」の検証を提案
第7回	3/26	15人	・「認知症高齢者などの通院支援」について、取り組みの振り返りと今後の進め方の確認 ・介護予防教室についての情報共有と提案

〈協議した結果〉

- ・ 初回のテーマを「認知症高齢者などの通院支援」として話し合った。現在の制度では解決することができなかつた地域課題であるが、協議体での話し合いと工夫の中で新たな解決方法を試行するに至った。引き続き事業化に向けて取り組みは継続される。
- ・ 住民と専門職が協働して進める中で、「住民活動としてできる範囲と責任」と「専

専門職が果たすべき事」といった、それぞれの役割について整理することができた。今後、専門職では担いきれない部分を住民活動でカバーすることが期待される中、専門職と住民が相互に補完しあう関係作りや基盤作りの習慣性が芽生え始めたことは重要な成果であった。この点については、今後も協働を推進し成熟させていく上で整理を要する。

- ・ 同一のテーマに対して、専門職と住民がそれぞれの立場から意見を出し合うことで、これまで見えていなかった各々の役割を理解する機会となり、距離を縮めることができた。

イ. 太良町第2層協議体

住み慣れた地域で安心して自立した生活を続けられるよう地域住民自ら参加し、考え取り組む事ができるように働きかけを行った。本年度は、モデル地区として中学校区毎の山間部でそれぞれ実施した。

a. 多良校区（嘉瀬ノ坂・板ノ坂・三里・御手水・風配）

集会	開催日	参加数	主な内容
第1回	6/29	9人	互いの支え合える地域づくりについて 太良町と南糸岐地区の高齢化率について
第2回	7/19	7人	太良町コミュニティバスについて ・役場資料に従い、スケジュールと詳細を説明
第3回	8/23	6人	コミュニティバスについて ・想定利用者の訪問調査結果の報告と集会 ・8/1, 2, 7 に「独居の方の交通アンケート実施」
第4回	11/8	6人	コミュニティバスについて ・区内の世帯状況の報告と集会 しおさい館予防教室を動画で説明
第5回	12/6	6人	コミュニティバス開始前までの移動手段について しおさい館の介護予防教室の紹介
第6回	2/7	6人	しおさい館利用、見守り、コミュニティバスについて

※1/29に12の方がしおさい館を利用され、十分に楽しまれた。今後も定期的に利用したいという話もあり、継続的に利用することとなった。2/13にも来館。

b. 大浦校区（広谷・黒金・船倉・大町）

集会	開催日	参加数	主な内容
第1回	6/13	14人	互いの支え合える地域づくりについて

			太良町と広谷ほか3地区の高齢化率について
第2回	7/12	10人	元気塾、公共交通、タクシーチケットについて 「寄り合いの場」を提案 ・6/22、7/4、7/10に独居の方を訪問
第3回	9/4	14人	亀ノ浦サロン、平野元気塾、しおさい館の介護予防教室のビデオ紹介に続き、いろいろ集会
第4回	10/3	13人	介護予防「元気塾」のデモンストレーション実施
第5回	10/31	16人	認知症サポーター養成講座・居場所作りについて
第6回	12/5	10人	しおさい館ツアー・居場所作りについて
第7回	2/14	13人	しおさい館利用による介護予防の実施 コミュニティバスの利用について

※集会以外に地域個別訪問（6/22、7/4、7/10）、対象4名

〈協議した結果〉

- ・ 地域ごとの課題を共有できた。以前は近隣地区で集まる機会もあったが、最近では無くなっていた。今回、近隣地区で集まり話せる機会を作ってもらえて、繋がりを戻す事ができた。同じ地域課題を抱える地区として、これからも協同で取り組むきっかけ作りに繋がった。
- ・ 話し合いの中で、しおさい館の利用について周知されていないことが分かった。そこで、しおさい館体験ツアーを企画し、しおさい館の活用方法について理解してもらう取り組みを行った。その結果、参加者からは「楽しかった。これからも継続して利用したい」等の好評を得た。またコミュニティバスの運行経路を体験乗車してもらい、日常的にバスを利用しない方への配慮が必要と感じた。こうした体験活動を通して、介護予防意識の向上について伝える機会を創設することができた。
- ・ 交通に関する地域課題をテーマとして、将来の生活を考える話し合いへと広がった。その中で、地区内の世帯状況の調査を行い、また見守り活動についての実状や課題についても話し合うことができた。現在行われている地域活動から住民が感じている不安を明らかにすることができた。今後は、そういった不安を解消するための話し合いと取り組みの継続が必要となる。
- ・ 住民の主体的な話し合いに基づき調査を実施し、地域課題を明らかにした上で試行し、住民の意識を動かす一連の流れを実践することができた。今年度はモデルケースとしての取り組みであったが、この成果は今後他の地区へ提案していく際、大いに参考になると考える。

ウ. 幸せの町づくりサポーター

地域課題に対して、その解決に向けた地域住民自身の主体的活動を支援すること

により、地域共生社会の実現を目指す。知る・考える・活動の3つの内容で展開する。

集会	開催日	参加数	主な内容
第7回	4/10	28人	「知る／考える／実行する」のPR これまでの活動を振り返る
運転ボラ 説明会	5/8～	10人	社協「公用車貸出に関する規定」説明会 ・配食サービスで社協車を運転する為の講習会
第8回	5/15	16人	活動をより活発にするために、クラブを設立 ・ボランティア保険の紹介
第9回	8/8	22人	・配食サービス、9月末で終了予定報告 ・クラブ代表者による「各クラブのPR」実施 →活動者の募集

〈各クラブ活動の開催〉

クラブ名	所属数	話合回数	利用者数	主な内容
配食	14人	20回	2人	5～9月までの活動実績 土曜日昼食のみ配達、活動延40人で 20回
移送	6人	12回	—	「かわかみ絆の会」視察含む
介護予防を 考える	2人	2回	—	クラブとは別活動で、男の料理教室メン バー（ビックリファーム）にて、畑 の耕耘、施肥、野菜栽培～収穫～調理
健康ウォー キング	3人	7回	9人	5回開催、参加者延べ56人 竹崎、中尾、中山キャンプ場、神社巡 り、梅林巡り
お話・傾聴	6人	7回	延39人	各クラブ会員による、高齢者宅へ訪問 傾聴活動を実施。
生活支援 活動 ご縁クラブ	4人	34回	17人	窓拭き・重量物の移動・粗大ゴミ運 搬・日よけシートの設置・換気扇の掃 除・電球交換等 利用回数33回（活動者延人数52名）
お化粧品	1人	1回	1人	利用者1人

〈成果等〉

- ・ 参加者の興味や意識、特技に合わせてクラブ活動化（小グループ活動化）したことにより、地域課題に対する活動が活発になった。
- ・ 各クラブ活動について、生活支援コーディネータは、ケアマネージャーへの情報

提供や、住民からの要望とクラブの活動を繋げ、調整した。また、技術的向上が必要な活動内容に対しては視察研修を実施した。

- ・ 住民の自主的ボランティア活動としての実績は増え続けており、生活支援体制整備事業を進めていく上で、非常に有用な社会資源となることに疑いの余地はない。今後は、協議体との連携を深め、地域課題を解決していくための実践部隊としての活動へと進化していくよう導きたい。

エ. 総合事業に対する新たなる福祉サービスの提案と検証

地域課題を解決するにあたり従前の方法では困難な場合は、行政が主体的に実施する総合事業の一つとして、新たな福祉サービスを提案する。また福祉サービスを安定して提供し続けるための課題等を検証することを目的に研修会を実施した。

〈生活支援の担い手（サポーター）養成研修〉

訪問型生活支援活動に必要な知識及び技能を習得する、一般住民向け研修会。

期日	場所	参加者数
7月3日	しおさい館	14名

オ. 地域包括ケアシステム研究会への参加と協力

住民主体の活動を多く含む生活支援体制整備事業と、専門職が中心の地域包括ケアシステム研究会とが、相互に連携し取り組めるよう参加と協力を行った。

期日	内 容
4月9日	コアメンバー会議
6月11日	コアメンバー会議
8月20日	コアメンバー会議
8月27日	分科会発表会
10月18日	コアメンバー体制整備事業班会議
11月30日	在宅医療介護連携研修会
12月10日	コアメンバー会議
2月4日	コアメンバー会議（人材確保について検討する分科会の設置提案）
2月15日	町民公開講座

- ・ その他、分科会活動への参加。

カ. 生活支援コーディネーターの資質向上（研修会等への参加）

研修日	研修場所	内 容
6月14日	佐賀市	佐賀県生活支援コーディネーター連絡会
7月19日	佐賀市	佐賀県生活支援コーディネーター連絡会

9月10日 ～11日	大阪市	いきがい助けあいサミット in 大坂
9月13日	小城市	佐賀県生活支援コーディネーター連絡会
10月15日 ～16日	東京都	生活支援コーディネーター研究協議会 支え合いを広げる住民主体の生活支援フォーラム
12月13日	佐賀市	佐賀県生活支援コーディネーター連絡会
1月17日	佐賀市	移送サービス実施団体視察研修
2月6日	佐賀市	生活支援体制整備事業管理者研修会
2月12日 ～13日	東京都	ケアテック 2020 東京
2月25日 ～26日	日向市	太良町の福祉について協議する者のレベルアップ研修

キ. その他

先進地の活動より新たなる地域・制度・仕組み作りを学び、これからの太良町の地域作りを推進するために必要な知識の共有と改革を行うことで、体制整備事業を推進する人材育成と基盤作りを目指す企画。

a. 太良町の福祉について協議する者のレベルアップ研修

期日	1月25日
場所	しおさい館
内容	①講義 ②ワークショップ 講師：宮崎県日向市健康福祉部高齢者安心課 係長 中里充宏 氏
参加者数	64名

b. 太良町の福祉について協議する者のレベルアップ視察研修

期日	2月25日～26日 (1泊2日)
視察先	宮崎県日向市
内容	「介護予防・日常生活総合支援事業」について日向市の取り組みについて ①担当者からの講義 ②地域ケア会議見学
参加者数	20名

⑬認知症総合支援事業

- ・認知症地域支援員の設置
- ・認知症カフェの設置及び運営
- ・認知症初期集中支援チーム等関係機関との連携
- ・本人、家族、支援者等関係者への研修会、交流会等の実施

令和元年度 認知症地域支援推進員活動集計

活 動		人数	
支援	相談者数	48	
		本人	14
		本人以外	34
	訪問件数	22	
	情報共有	37	
	連絡調整	26	
	家族連絡	27	
	支援依頼	2	
	本人ミーティング	24	
	買い物支援	1	
	金銭関係	0	
	受診付き添い	21	
	デイサービス利用支援	11	
認知症カフェ利用者		92	
	認知症の方の利用	27	
	家族の利用	8	
	支援者及び一般の利用	57	
認知症サポーター養成人数		171	

研修・会議等の参加及び講座開催		回数
啓発		10
認知症初期支援チーム関連		11
会議		32
	認知症支援チーム員会議	10
	支援会議	10
	サービス担当国会議	1
	多職種ネットワーク会議	3
	その他	8
研修		3
	認知症地域支援推進員研修	1
	認知症講演会	1
	認知症検査ファイブコグ研修	1
認知症サポーター養成講座開催		10

(7) 機関誌「心」発行

号	発行月	表紙	主な記事
94	7月	初級手話講習会	平成30年度事業報告・財産目録 幸せの町づくりサポーター
95	9月	認知症 キッズサポーター	竹の子の里 体制整備事業第2層協議体 社協組織図 24時間テレビチャリティー募金
96	1月	十夜市街頭募金活動	新年あいさつ 歳末たすけあいお楽しみ会 共同募金 認知症総合支援しおさいカフェ ぽかぽか広場のご案内
97	3月	第17回 太良町社会福祉大会	社会福祉功労者表彰 町民公開講座 共同募金 体制整備事業 介護予防教室 しおさいカフェ シルバー会員募集

(8) 貸付事業

貸付種類	貸付件数	貸付金額
①国民健康保険高額療養費貸付	貸付件数；0件	—
②太良町福祉資金貸付	貸付件数；1件	100,000円
③生活福祉資金貸付事業（県社協委託）	新規貸付；0件	貸付残数；8件

(9) シルバー人材センター事業

社会参加の意欲がある健康な高齢者に対し、その知識及び経験に応じた就業並びに社会奉仕等の活動機会を確保し、生活感の充実及び福祉の増進を図る。

公共		民間		個人		合計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
105	5,629,640円	16	1,225,120円	265	6,504,150円	386	13,358,910円

会員数 29名（男性15名・女性14名）

(10) 介護保険事業

①1号通所事業（デイサービスしおさい）

介護保険該当者（事業対象者・要支援1・2）に対し、送迎・入浴・食事・レクリエーション等のサービスを提供することにより、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びにその家族の身体的・精神的負担の軽減を図る。

実施月/回数	延利用者数	主な行事・レクリエーション
4月 16回	39名 (事 9①30②0)	折り紙作製・オセロゲームなど
5月 16回	38名 (事 9①29②0)	認知機能テスト・カードゲームなど
6月 16回	41名 (事 12①29②0)	誕生会・あじさいお花見・DVD鑑賞
7月 18回	44名 (事 11①33②0)	七夕祭り・茶道体験・期日前投票
8月 17回	34名 (事 9①25②0)	竹の子交流・スカットボール・塗絵
9月 16回	38名 (事 6①26②6)	誕生会・太良町結核肺がん検診参加
10月 18回	46名 (事 10①29②7)	火災避難訓練・ペーパーアート
11月 17回	46名 (事 8①30②8)	パターゴルフ・紙人形作製
12月 16回	40名 (事 8①25②7)	誕生会・流鏝馬ゲーム
1月 16回	41名 (事 8①25②8)	絵馬作製・出前運搬ゲーム
2月 15回	38名 (事 8①24②6)	三角駒作製
3月 4回	9名 (事 2① 6②1)	感染症対策による休館があった為利用料無料とした
合計 169回	454名	

※事＝事業対象者 ①＝要支援1 ②＝要支援2

②介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型サービスB）

総合事業対象者に対して、住民主体のボランティアが多様な生活援助等を行い、対象者が自立した生活が送れるよう支援することを目的に実施。

- 利用者数 4名
- 年間派遣時間数 41時間30分
- 本人負担額合計 8,300円 (200円/1時間、100円/30分)
- 町委託料合計 29,000円 (580円/1時間、460円/30分)
- 収入合計額 37,300円

(11) 地域福祉推進事業関係

①地域福祉活動助成金制度の実施（団体助成）

地域住民が組織する団体やボランティア団体など、地域が抱える課題や幸せの町づくり活動に積極的に取り組む事業に助成。

- ・助成金原資 社協会費及び共同募金配分金
- ・審査会（申請書等の書面審査にて実施）

団体名	助成金額	主な活動
太良町商工会青年部	100,000円	地域のふれあいニコニコ活動
1件	100,000円	

②ふれあいいいきいきサロン活動助成金

地区名	回数	参加人数	助成額(円)
伊 福	10	256	47,400
さつき会(本町)	4	92	18,400
さくら会(江岡)	9	136	27,200
亀ノ浦	11	368	55,000
北 町	8	136	27,200
合 計	42	988	175,200

(12) 総合福祉保健センターしおさい館の指定管理

①施設の適正な維持管理

ア. 建物・設備の保守点検

利用者が快適・安全に利用できる施設管理を行うため、専門業者及び職員による点検を実施。

<p>【点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築設備定期点検及び報告(県へ) ・ 建築設備巡回点検 ・ 空気環境測定 ・ 消防用設備定期検査(年2回のうち総合検査を県へ報告) ・ 防火対象物定期検査(特例認定より3年間報告免除) ・ 自動ドアの保守点検 ・ トレーニング機器の保守点検 ・ 電気保安点検 ・ しおさい館停電検査 ・ 昇降機設備定期点検(県へ報告) ・ 昇降機設備リモート点検 ・ 衛生マットの定期交換 ・ 空調機フィルター清掃 ・ 濾過器、バイブラ装置保守点検 ・ ティサーバー保守点検 ・ フィルターカートリッジ取替 ・ 厨房冷凍冷蔵庫保守点検 <p>【修理及び整備等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健棟検診室ドア鍵修理 	<p>年1回</p> <p>月1回</p> <p>年6回</p> <p>年2回</p> <p>年1回</p> <p>年4回</p> <p>年2回</p> <p>月1回</p> <p>年1回</p> <p>年1回</p> <p>月1回</p> <p>月2回</p> <p>年6回</p> <p>月1回</p> <p>年2回</p> <p>年1回</p> <p>年1回</p>
--	--

- ・館内消火器交換（11本）
- ・館内誘導灯本体交換（1ヶ所）
- ・温泉ポンプ室地下タンク吸い上げ部フード弁作動不良による分掃整備
- ・ボイラー室から浴槽までの配管内洗浄
- ・正面玄関自動ドア補助センサー交換（1ヶ所2個セット）
- ・トレーニング室カプセル修理（温調器、蝶番部分交換、開閉部シャフト交換）
- ・トレーニング室トレッドミル1台（WELL ROAD200）オーバーホール消耗部品交換
- ・トレーニング室身長体重計更新
- ・保健棟外側の伊藤園自動販売機更新
- ・福祉棟2階女子トイレ配管パッキン交換
- ・福祉棟2階多目的トイレ温水シャワー本体水漏れのため取替交換
- ・福祉棟1階多目的トイレ手洗いセンサーコントロールボックス分掃整備
- ・福祉棟西側職員通用口のドアフレーム修理
- ・保健棟男子トイレ配管パッキン交換
- ・エレベーター作動用コンデンサ取替交換
- ・玄関ホール・大広間設置のピアノ調律実施
- ・浄化槽曝気ブロワー装置Vベルト交換
- ・しおさい館電力供給設備の気中開閉器交換
- ・館内電話機交換
- ・福祉棟2階ホールのロールカーテン1ヶ所脱落したため補修取付
- ・保健棟各部屋会議用高機のキャスター老朽化のため交換（ストッパーあり42個、ストッパーなし42個）
- 【植栽管理】
- ・植栽樹木管理（シルバー人材センターによる作業）
- ・周辺花壇整備（民生委員児童委員協議会）

イ. 環境衛生業務

日々の清掃及び定期清掃を実施することで衛生的で気持ちよく利用できる環境づくりに務めた。

【清掃及び消毒など】	
・館内清掃（シルバー人材センター及び職員）	毎 日
・定期巡回清掃	週 1 回
・定期（床）清掃	年 6 回
・窓ガラス清掃	年 4 回
・窓ガラス水アカ除去	年 1 回
・トイレ撥水	年 1 回
・浴槽内排水による清掃	週 1 回
・受水槽の清掃と消毒	年 1 回
・グリストラップ清掃	年 4 回
・排水管高圧洗浄	年 1 回
・定期薬剤散布による害虫駆除	年 2 回
・グリスフィルター清掃	年 2 回
・館内害虫駆除実施	年 1 回
【検査】	
・飲料水の水質検査	年 2 回
・レジオネラ菌検査	年 2 回
・煤煙測定検査	年 2 回
・地下タンク検査	年 1 回

ウ. 夜間受付及び警備業務

事故や犯罪防止のために専門業者に業務を委託して閉館後の安全管理に努めた。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 17時以降閉館まで（シルバー人材センター）・ 閉館から翌朝開館まで（警備会社委託）・ 事故発生等に対応できる警備体制確認 |
|--|

エ. 災害時の体制及び対応

事故や災害が発生した場合を想定し、緊急連絡網を整備し緊急時に備えた。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 消防訓練実施（厨房を含む全職員・シルバー人材センター会員・一般来館者）⇒年2回・ 新型コロナウイルス感染拡大防止策の実施（臨時休館、入館利用制限、マスク着用要請、手指消毒の徹底、次亜塩素による拭取り消毒、入館時の検温と質問票記入徹底、一般利用者とデイサービス利用者の区分けの徹底） |
|---|

②効率的な運営の取り組み

公共施設であるとしての経費削減に努めるとともに、増収に務めた。

- ・建物管理業務分離発注及び入札新規受入れにより経費削減を実施
- ・毎朝、職員が清掃し清掃費の節減に努めた
- ・きめ細かな空調管理による消費電力節減
- ・電力監視制御装置（デマンドシステム）による最大需要電力量の監視
- ・自動販売機による手数料収入

③利用者の状況及び利用者増・サービス向上に向けた取り組み

- ・毎月第4日曜日の日中トレーニング室開館
(9回実施 利用者 町内13名、町外7名、合計20名 1回平均2.22名)
- ・敬老の日無料開放
- ・館内行事及びその他お知らせの効果的な告知のため玄関ホールにてデジタルサイネージ運用
- ・リサイクルポスト設置並びにリサイクルショップ
- ・夜間（17時以降）町内利用者の利用料半額サービスを継続
- ・各種教室の実施 腰痛予防教室（毎週水曜日）、ヨガ教室（月3回金曜日）
- ・趣味クラブの利用 囲碁 染色 謡曲 手話 ステンシル

④利用者の状況

()内は、夜間利用者再掲

年度	福祉棟利用者	保健棟利用者	合計	開館日数
令和元	21,545 (6,218)	10,588 (1,883)	32,133 (8,101)	230
平成30	25,654 (6,812)	11,843 (2,278)	37,497 (9,090)	247
平成29	24,531 (6,130)	14,373 (3,260)	38,904 (9,390)	247

※2月28日から3月24日までは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉館

※3月25日から保健棟を閉鎖し、福祉棟のみ町内在住者に限り利用再開

⑤行政関係等による利用

- ・各種相談 行政、人権、無料法律、行政書士、消費生活、女性総合、もぐもぐ乳児、精神保健福祉、一般健康の各相談 外
- ・健診等 一般、特定、乳幼児、がん、歯科の各健(検)診、特定保健指導、予防接種 外

- ・会議等 農業委員会、同和問題研修会、福祉推進員会議、保健推進員会議
母子保健推進員会議、食生活改善協議会会議、地域ケア会議
地域包括多職種ネットワーク会議、介護保険説明会 外
- ・その他 教育事務所管内校長会、町老人クラブ連合会連各種事業 外

⑥広報活動・苦情・意見対応ほか

- ・要望箱の設置
- ・巡回バス運行については可能な限り柔軟に対応
- ・社協だより及び本会ホームページにしおさい館の情報を掲載

(13) 「佐賀県内社会福祉協議会災害時相互応援協定」に基づく応援職員の派遣

原因となった災害 令和元年8月豪雨災害（8月27日以降の大雨）
 派遣先社協 大町町社会福祉協議会・武雄市社会福祉協議会（1日のみ）
 業務内容 災害救援ボランティアセンター運営業務
 派遣期間 令和元年8月31日から10月11日まで
 派遣職員延数 32名 ※ボランティア活動保険加入者数 43名

(14) 関連団体事務取り扱い

①佐賀県共同募金会太良町支会

(i) 赤い羽根共同募金 募金総額 1,751,976円
 戸別募金 885,910円 街頭募金 14,366円 法人募金 391,989円
 学校募金 21,247円 職域募金 168,260円 イベント募金 9,404円
 その他 170,800円

(ii) 地域歳末たすけあい運動募金 募金総額 296,350円
 歳末たすけあいお楽しみ会 196,325円
 サンタがお家にやって来る 3,912円
 サロンしおさいクリスマス会 9,560円
 次年度一般配分金への繰越金 86,553円

(iii) 災害義援金の受付 9件 174,939円

②日本赤十字社佐賀県支部太良町分区

(i) 世帯からの受入会費総額 1,390,300円
 (ii) 県支部からの災害見舞金 10,000円（1件）
 (iii) 県支部からの交付金 180,739円
 (iv) 災害義援金の受付 1件 20,109円